令和８年度宮崎県文化賞の受賞者について

総合政策部みやざき文化振興課
教育庁生涯学習課

宮崎県文化賞は、昭和25年、本県の文化の向上発展に特に顕著な業績を有する者を顕彰することを目的に創設。
今年度で77回目。
今回の受賞者は２名であり、これまでの累計は314名と５団体となる。

1　受賞者

部　門	氏　名	年齢	所属等	居住地
学術	深見　裕伸	53	宮崎大学 農学部 農学部門 海洋生命科学領域　教授	宮崎市

部　門	氏　名	年齢	所属等	居住地
文化功労	那賀　教史	80	宮崎民俗学会 会長	宮崎市

2　授賞式日時･場所

令和８年11月６日（金）　14：30～15：10　　県庁本館講堂

令和８年度宮崎県文化賞の受賞者について

総合政策部みやざき文化振興課
教育庁生涯学習課

３　受賞理由　　【学術部門】　深見　裕伸 氏

新種発見等により本県沿海のサンゴの多様性の豊かさを国内外へ学術的に発信するとともに、地域と連携したサンゴ保全や新群集発見並びに普及啓発に取り組み、本県海洋分野の学術向上に大きく寄与したため。



主な経歴	
	【学歴・職歴】
平成12年３月	東京水産大学大学院水産学部門博士課程　修了
平成12年５月	スミソニアン熱帯研究所　博士研究員
平成15年10月	カリフォルニア大学スクリップス海洋研究所　博士研究員
平成17年４月	京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所　助手
平成19年４月	京都大学フィールド科学教育研究センター瀬戸臨海実験所　助教
平成22年７月	宮崎大学農学部海洋生物環境学科　准教授
平成31年４月～	宮崎大学農学部海洋生物環境学科　教授（現　宮崎大学農学部農学部門海洋生命科学領域　教授）
	【役員歴】
平成25年10月～	日南海岸サンゴ群集保全委員会　委員
平成25年４月～	海域ステーション瀬戸臨海実験所共同利用運営委員会　委員
平成25年４月～	鹿児島大学水産学部かごしま丸共同利用運営協議会　委員
平成26年８月～	自然環境研究センター絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会及び絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会サンゴ類分科会　委員長
令和４年８月～	沖縄県版レッドデータブック改定業務　委員
令和７年12月～	日本サンゴ礁学会　理事
令和８年４月～	宮崎大学農学部教務担当副学部長補佐

令和８年度宮崎県文化賞の受賞者について

総合政策部みやざき文化振興課
教育庁生涯学習課

3　受賞理由

【文化功労部門】　那賀　教史 氏

永年にわたる県内各地での実証的な民俗学の研究成果を著作にまとめるとともに、特に神楽の調査研究を通じて国重要無形民俗文化財指定に貢献し、本県民俗文化の保存継承及び普及に大きく寄与したため。



主な経歴	
	【学歴・職歴】
昭和44年３月	大分大学教育学部　卒業
平成７年４月	宮崎県教育庁文化課文化財係　係長
平成９年４月	宮崎県教育庁文化課文化財係　主幹兼係長
平成11年４月	高千穂町立高千穂小学校　校長
平成13年４月	宮崎県教育庁児湯教育事務所　指導課長
平成15年４月	宮崎市立高岡小学校　校長
平成17年４月	宮崎市立大塚小学校　校長
平成19年～平成28年	宮崎県総務部宮崎県文書センター　運営嘱託員
平成29年～令和５年	宮崎県立図書館　古文書筆耕員
	【役員歴】
平成７年～平成11年	宮崎県史編さん執筆者（民俗編）
平成24年６月～	みやざきの神楽魅力発信委員会委員（令和６年～　副委員長）
令和２年７月～	宮崎県博物館協議会委員
令和６年６月～	宮崎民俗学会会長